



今年は祭りのない夏になりましたが、このような活動をしていただけてうれしく思います。実物の新作大型立佞武多「暫」は、来年の五所川原立佞武多に出陣しますので、楽しみにしてください。

新型コロナウイルスの感染状況は、未だ予断を許さない状況が続いています。一人一人の自覚と責任のある行動を再度お願いいたします。

7月30日 アイロンビーズ作品「立佞武多『暫』」完成報告

7月30日、いとか学園放課後児童クラブに通う児童が製作したアイロンビーズ作品「立佞武多『暫』」の完成報告がありました。

ご存じのとおり、「立佞武多『暫』」は、今年度の新作大型立佞武多として、今年度の五所川原立佞武多に出陣する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により現在は製作を中断しています。

残念ながら、今年度の立佞武多祭りは中止となりましたが、今回製作されたアイロンビーズ作品は立佞武多の館に展示していただけるとのことですので、児童のみなさんの力作をぜひご覧になって楽しんでいただければと思います。



斜陽館の入館者210万人達成

7月13日、当市金木町の太宰治記念館「斜陽館」の入館者数が210万人を達成しました。

210万人目となったのは、小倉智也さん(青森市在住)で、前日から友人3人と中泊町の行楽地で自然を楽しんでおり、その帰りに斜陽館を訪れました。

小倉さんには、記念品として斜陽館のパネル写真、図録、花束が贈られました。

友人の提案で立ち寄ったという小倉さんは「びっくりしたが、とてもうれしい。斜陽館の風景を見て小学生の頃に一度来たような気がする。大人になって改めて来ると、また違って見えると思うので、太宰の空気や作品の裏側を感じられたら」と笑顔で話しました。



入館者210万人目となった小倉さん(左)

「立佞武多のおやつ」発表お披露目会

当市特産の赤〜いりんごを使用したスナック菓子「立佞武多のおやつ」の発表お披露目会が7月21日、市役所で行われました。

このお菓子は(株)アグリコミュニケーションズ津軽が製造・販売を企画し、りんごの成分や栄養はそのままに、ポリポリとした食感と赤〜いりんごの風味や酸味を味わうことができます。また、パッケージのQRコードをスマートフォン等で読み取ると、過去の五所川原立佞武多の動画を視聴することができます。

宮田代表取締役は「今年は新型コロナウイルスの影響で祭りが中止になったため、家族で動画を楽しみながら、食べていただきたい」と話しました。



新商品を発表お披露目した宮田代表取締役(左)